

平成29年10月19日

個人情報の漏えいについて

JA北海道厚生連 帯広厚生病院
院長 菊池 英明

この度、当院の患者様の情報を含む業務用書類が帯広市内金融機関(以下、金融機関)のトイレのごみ箱の中から発見され、調査を行った結果、当院を退職した職員が当院から持ち出し、私物の書類と間違えて投棄したことが判明しました。これにより、患者様88名分の個人情報が金融機関職員他1名に漏えいしました。

対象となった患者様並びに利用者の皆様にご心配とご迷惑をお掛けいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。

今後、二度とこのような事態が発生することがないよう全職員に対して個人情報の取扱いを徹底し、これまで以上に患者様の個人情報の保護に努めてまいります。

記

1. 事案が判明した日 平成29年10月10日(火)
2. 漏えいした個人情報の内容・件数(合計88名分)
 - (1) 氏名、ID、生年月日、住所、電話番号、保険情報、病名・病状(25名分)
 - (2) 氏名、ID(63名分)
3. 対応
 - (1) 平成29年10月10日、発覚後直ちに当院担当者が当該書類を回収しました。
 - (2) 直ちに当事者を特定し、持ち出した患者様情報が当該書類のみであることを確認しました。
 - (3) 対象となる患者様88名に対し、文書で説明・謝罪を行いました。
 - (4) 関係機関への相談・報告を行いました。 ※帯広警察署、農林水産省(監督官庁)
4. 被害の報告
現時点では、発見の端緒となった金融機関従業員他1名以外の者が個人情報を閲覧した事実は確認されておらず、個人情報が二次利用された形跡及び被害の事実も確認されておられません。
5. 再発防止策について
当院を退職する職員に対して、上位者が退職者の持ち物の中に病院の物がないか、退職時に確認することとしました。

以上

【問い合わせ窓口】

JA北海道厚生連 帯広厚生病院
事務次長 吉原、 総務課長 山崎
電話番号:0155-24-4161